

大船駅前 まちかどライブラリー

2026

同時開催

昭和・平成の
大船写真展

青空の下で、本を自由に手に取り、ゆっくりと
読書を楽しめる小さなライブラリー。
ご自宅で読まなくなった本をお持ちいただくと、
その場に並ぶ本と交換できます。



5月23日（土）・24日（日） 10:00～15:00
大船駅笠間口前スペース（雨天決行）



★本の交換方法

- ① 読まなくなった本を受付まで
お持ちください。
- ② 本への想いを、葉にご記入く
ださい。
- ③ 会場で自由に本を読んだり、
選んだりできます。
- ④ 気に入った本があれば、お持
ちいただいた冊数分（3冊まで）
お持ち帰りいただけます。

《お願い》

- ・持ち込みは1人3冊までです。
- ・教科書、雑誌類、傷みの激しいものは対象外です。
- ・業者様のご利用はご遠慮いただきますよう
お願いいたします。
- ・会場には駐車場、駐輪場のご用意がありません。
徒歩または交通機関でお越しください。

参加無料・予約不要

会場の本を見に来るだけでも結構です！

お気軽にご来場ください◎

＜主催者＞ 鎌倉女子大学家政保健学科 チーム「鈴木ゼミ」
鎌倉市 都市政策部 市街地課

＜お問い合わせ＞鎌倉市 市街地課（ur-ofuna@city.kamakura.kanagawa.jp）までご連絡ください。

詳細はこちら



↑鎌倉市HP
大船駅笠間口前スペース

「大船駅前まちかどライブラリー」

企画内容

1. 読書空間と交流の場づくり

大船駅前の限られたスペースに小さな読書空間を設置する。空間には2人掛けのベンチを用意し、道行く人が街の様子を感じながら、短時間でも本を手にとれるよう計画する。本棚には、読まれなくなった絵本や小説など、小さな子どもから大人まで皆が手に取りやすい本を並べる。

また、本を介した交流を生むため、参加型の仕組みとして本の交換を行う。来場者は読まなくなった本を持参し、持参した冊数分(上限3冊まで)を会場内の本と交換できる形式とする。会場に並べる本には、本の元持ち主が記入したメッセージを葉として挟み、本に込められた思いやおすすめが次の読者に伝わるようにする。

さらに、当日たまたま通りがかった人でも気軽に立ち寄れるよう、本の交換に参加しない場合でも会場の本をその場で自由に読むことができる立ち読み(座り読み)も可能とし、アンケートに回答すれば、会場内の本を1冊持ち帰ることを可能とする。また、会場の一角では「昭和の写真展」も実施し、偶然訪れた人も楽しみながら、本や写真をきっかけとした交流が生まれる場を目指す。

2. 環境配慮への取り組み

本企画で設置するベンチは段ボールを使用し、解体・再利用が可能な構造で製作する。これにより、使用後も資源として循環させることを前提とした設計とし、環境負荷の低減を意識する。その上で、アップサイクル都市モデル分科会よりリサイクルパネルを借用し、ベンチに組み込むことで、駅前利用者に対してより環境への意識を喚起する。

さらに、使用しているリサイクルパネルの紹介コーナーを設け、資源の再利用や環境配慮への取り組みに対する理解を深めるとともに、環境について考えるきっかけをつくる。

来場者数：

■23日(延べ人数 433名)

- ・本閲覧者：136名
- ・本持参者：31名
- ・アンケート回答者：41名
- ・写真展来場者：225名

■24日（延べ人数 509 名）

- ・本閲覧者：135 名
- ・本持参者：43 名
- ・アンケート回答者：60 名
- ・写真展来場者：271 名

